

1. 科目名（単位数）	障害者福祉特論（2 単位）	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5317
2. 授業担当教員	【池袋】是枝 喜代治 【名古屋】加藤 洋子			
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	【池袋】 秋期 【名古屋】 春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	社会福祉の理念や制度は、国際的な条約やその時々を反映して変化してきた。なかでも障害者福祉の理念や制度は、国連(2006)の「障害者の権利に関する条約」を契機に障害や疾患があっても社会環境を整備する中で「その人が望む生活・生き方」を実現していく制度として医療と福祉サービスを包括的に提供する地域包括ケアシステムを整備してきた。2021 年には、医療的ケア児支援法案など先進医療により常時医療が必要な児が急増し支援する法律ができた。世界的には教育や就労を含めた社会参加を実現するための ICT の活用やユニバーサルデザイン、リハビリテーション実施の法律が整備され世界中にその理念と実践が推進されてきた。診断主義から機能主義への変遷である。WHO（世界保健機構）は、世界が目指す「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」は、SDG s 持続可能な包摂的な社会を築くとしている。 社会ニーズによって支援する法律も生まれる。また、バリアフリー法、合理的配慮、生活機能分類などの利活用など、個々人の残存機能の活用、コミュニケーション機器の利活用を含めた個人の力が発揮できる物理的支援と誰もが「生きる力」をもち主体的な人生を送ることができる社会づくり、専門職養成などの人的資源、まちづくりなどのハード面と人権擁護からのソフト面、そしてそれらが総合的に機能するよう専門職や医療福祉制度の研究が期待されるようになった。障害者観や制度の変遷、国による違いなどに着目しながら日本そして世界の障害者福祉の仕組みを学び、国際的な視点で課題を捉えていく。			
8. 学習目標	上記を踏まえて幅広い知識を身につけ、障害のある人のQOL（生活の質：Quality of Life）とは何か、対象者への温かい理解、社会や制度の評価、分析、考察する力量とソーシャルアクションや街づくりの提案など研究的視点から課題整理できる実践力を身につけることを目指す。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	（レポート課題） 障害者に関連する次の条約や制度、法律のうち複数について簡潔にレポートしてください。 - 日本の医療福祉制度と他の国の制度を比較し、発表・解説してください。 - 国際生活機能分類（ICF）、障害者の権利に関する条約、障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法、障害者雇用促進法、障害者自立支援制度（障害者総合支援法）を調べ、その法律の主な目的・内容の相違について事前学習し各自一つずつ発表・解説してください。議論しましょう。 - あなたが毎授業の疑問点を事前に調べ、授業で解説してください。 *その他、授業の中で、予習課題を提示します。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】障害法,第2版,菊池馨実・中川 純・川島 聡 編著,ISBN 978-4-7923-2777-4,成文堂 新版子どもの発達障害辞典 原 仁,合同出版,ISBN978-4-7726-1382-8 【参考書】医療福祉総合ガイドブック 2023 年度版 単行本 - 2023/4/10,NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会 (編集),医学書院, 勇美記念財団調査報告書医療的ケア児,資料ダウンロード https://www.yuumi.or.jp/wp_yuumi2/wp-content/uploads/2022/06/04555a2fd4f7f10db98db9e0b34e18b0.pdf 内閣府『令和 5 年版 障害者白書』https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/Gaiyou/pdf/r05gaiyou.pdf 内閣府障害者差別解消法改正 https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html こども家庭庁『令和 4 年版 子供・若者白書』https://www8.cao.go.jp/youth/suisin/hakusho.html			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 課題に対するモチベーションの高さや調査の深さを規準に判断します。 ○評定の方法 個人・グループ発表、課題意識 40% 予習課題への取組み 30% レポート 30% 舞時間ごとのレポート有り。			
12. 受講生へのメッセージ	医療福祉に関わる研究や制度の基本的な理解のもと、さまざまな機能低下・機能不全などにより治療・リハビリを受けながらその人らしい生き方を支える専門職などの人的環境、施設整備街づくりなどユニバーサルデザインなどハード面などの社会環境のデザインや整備が必要である。地域の中で「共に生きる」をテーマにそれぞれの人が、「その人らしく生きる」社会を目指し、ミクロ（個人）・メゾ（地域・機関等）・マクロ（国）レベルで経済的バランスや効果的サービス・制度を考えていくことが求められている。医療・福祉・教育・就労など人生の様々な場面で人々の生活が営まれていること、それらの生活が安全で快適な生活になっているのかなど、PDCA の面から評価し人権擁護を第 1 に生活の質の向上を目指すことが大切である。いくつかの参考資料を提示していくので、予習復習をしてほしい。WHO（世界保健機構）は、世界が目指す「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」、「障害に関する世界報告書 2024」を示し、SDG s 持続可能な包摂的な社会を築くための方策についてグローバルな視点から議論していく。また、ボランティア体験などをとおして、さまざまな人々とのコミュニケーションを介してパートナーシップを学んでほしい。			
13. オフィスアワー	授業でお知らせします。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1・2.テーマ	日本の医療福祉システム・尊厳			

【学習の目標】 妊娠から障害の発症まで日本の保健医療サービスや在宅医療、リハビリテーション、地域包括ケアシステムについて理解する。日独の比較からも尊厳について重んじる姿勢、実践について理解すること。 【学習の内容】 様々な機能障害の発症要因と支援・サービス・法制度・環境整備・専門職・まちづくりなどチーム医療やネットワークなど重層的なシステムを学ぶ。 【キーワード】 障害児者・医療・福祉・教育・地域包括ケアシステム・ネットワーク・実態 【学習の課題】 参考資料 勇美記念財団調査報告書医療的ケア児,資料ダウンロード、配布資料を読んで制度のシステムの概要を理解し、自分なりに解説や意見を述べること 【参考文献】 参考書・教科書等から指示する。また、その都度ごとの資料を配布する。	
3 . テー マ	障害者福祉の基本理念
【学習の目標】 国際的に共有されている人権及び障害者福祉の理念について理解する。 【学習の内容】 障害者の権利に関する条約の概要、ノーマライゼーションの起源と理念、障害者における「自立」の概念について 【キーワード】 障害者の権利に関する条約・人権・ノーマライゼーション・リハビリテーション・自立と社会参加・共生社会 【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。 【参考文献】 外務省訳『障害者の権利に関する条約』http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html 【学習する上での留意点】 生活の全てで介助が必要な障害者を念頭に、「自立」の意味を考察すること。合理的配慮について考察する。	
4・5.テー マ	障害法の基本概念・理念
【学習の目標】 国際生活機能分類（ICF）における障害概念と障害モデルについて理解する。条約と法律についても理解する。障害者関連法律や制度の理念と目的、障害者の定義について理解する。 【学習の内容】 ICFの成り立ちとその理念、構成要素、ICIDHとの相違点 【キーワード】 国際生活機能分類（ICF）、国際障害分類（ICIDH）、障害モデル 【学習の課題】 上記キーワードについて、教科書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。 【参考文献】 厚生労働省『国際生活機能分類改訂版』（日本語版）http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html 【学習する上での留意点】 国際的に共有されている障害者観や福祉の理念を言語化し、その共通点や相違点を明らかにすること。障害者の生活にどのように役立ち、機能するかについて理解する。	
6・7 テー マ	肢体不自由・身体障害（児）者・医療的ケア（児）者の定義・支援。生活実態・ケア・教育・就労支援を知る。
【学習の目標】 我が国における障害児者の生活実態を理解する。 【学習の内容】 身体障害者・肢体不自由児・医療的ケア（児）者・難病の定義と各々のケアや生活実態、実例。 【キーワード】 身体障害者・肢体不自由児・医療的ケア（児）者、難病者の生活、サービス、ケア、教育、相談、学校選択、就労支援、地域包括ケア、チーム医療 【学習の課題】 上記の参考書や教科書、資料などで予備知識を身につけて授業に臨むこと。 【参考文献】 勇美記念財団調査報告書医療的ケア児,資料ダウンロード https://www.yuumi.or.jp/wp_yuumi2/wp-content/uploads/2022/06/04555a2fd4f7f10db98db9e0b34e18b0.pdf 【学習する上での留意点】 先端医療や文明社会の影響で起きる事故により受傷した人々をどのように障害の受容、生きる力へとサポートしていったらよいのか、医療福祉の専門職として考察すること。	
8 テー マ	知的障害とは。生活実態・ケア・教育・就労支援を知る。
【学習の目標】 我が国における障害者の生活実態を理解する。 【学習の内容】 知的障害（児）・者の定義、と各々のケアや生活実態、実例。 【キーワード】 知的障害（児）・者、生活、サービス、ケア、教育、相談、学校選択、就労支援、 【学習の課題】 上記の参考書や教科書、資料などで予備知識を身につけて授業に臨むこと。 【参考文献】 新版子ども発達障害辞典 原 仁,合同出版,ISBN978-4-7726-1382-8 【学習する上での留意点】 知的障害（児）者と家族の生活面・コミュニケーションによる意思決定・個々のあった発達支援などについて医療福祉の専門職として考察すること。知能検査の種類や評価方法を学ぶ。	
9・10 テー マ	発達障害（児）者・強度行動障害（児）
【学習の目標】 我が国における障害者の生活実態を理解する。 【学習の内容】 発達障害（児）・者の定義、と各々のケアや生活実態、実例。 【キーワード】 発達障害（児）・者、強度行動障害、ケア、生活、サービス、教育、相談、学校選択、就労支援、 【学習の課題】 上記の参考書や教科書、資料などで予備知識を身につけて授業に臨むこと。 【参考文献】 新版子ども発達障害辞典 原 仁,合同出版,ISBN978-4-7726-1382-8 【学習する上での留意点】 発達障害（児）者とその家族の生活面・コミュニケーションによる意思決定・個々のあった発達支援などについて医療福祉の専門職として考察すること。	
11・12.テー マ	「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」、「障害に関する世界報告書 2024」が示す障害者自身が臨む社会
【学習の目標】 「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」、「障害に関する世界報告書 2024」が示す障害者自身が臨む社会 【学習の内容】 世界の障害者が臨む生活・支援・社会について学び議論する。 【キーワード】 国連経済社会局(UNDESA)の社会包摂的社会開発部門(DISD)が示すミッションステートメント6つ 【学習の課題】 障害者の主体的生活を実現するため国連事務局の経済社会局は、経済・社会・環境分野におけるグローバルな政策として各国の行動国際連合の会議やサミットで策定された政策枠組みを国レベルのプログラムに反映させる方法と手段について、関係国政府に助言する。としている。どのような助言や方策が示されているのか、資料から学び議論する。 【参考文献】 「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」、「障害に関する世界報告書 2024」 【学習する上での留意点】 WHO（世界保健機構）が示す世界が目指す「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」、「障害に関する世界報告書 2024」を読み、SDG s 持続可能な包摂的な社会を築くための方策についてグローバルな視点から議論していく。	

13. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（1）障害者基本法・障害者総合支援法
	【学習の目標】法の成り立ちや改定の経過を学びながら、その主旨と背景を理解する。 【学習の内容】法の成り立ち、その理念と具体化、関係法令への流れ、 【キーワード】障害者基本法、障害者総合支援法、第4次障害者基本計画、応能負担、応益負担、自立支援 【学習の課題】障害者関連の法律に関連する新聞記事などを検索し、ディスカッションの話題とする。 【参考文献】障害者をめぐる法改正に関する社説など 【学習する上での留意点】過去に新聞やテレビで報道された内容と関連付けながら参加してください。
14. テーマ	障害者をめぐる基本的な法律の概要（4）精神保健及び精神障害者福祉に関する法律・発達障害者支援法の概要
	【学習の目標】「精神障害」の定義、概要及びニーズを理解する。 【学習の内容】精神障害・高次機能障害・てんかんの定義等、起こりやすい状態、合併症からくる生活しづらさを理解する。 【キーワード】精神障害・高次機能障害・てんかん、症状、治療、生きづらさ、環境整備、就労支援、SST 【学習の課題】授業で資料を配布する。 【参考文献】【学習する上での留意点】誰にでも起こりうる身近な問題として捉えること。医療福祉総合ガイドブック 2023 年度版 単行本 - 2023/4/10,NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会（編集）,医学書院,
15. テーマ	障害者を支えるテクノロジー
	【学習の目標】少子高齢化社会を支える資源としてテクノロジーが着目され、障害者福祉でも応用されていることを知る。 【学習の内容】介護アシスト商品、コミュニケーションツール、警報機や時計、支援用情報ネットワーク、災害時の情報伝達システム、義手・義肢・住環境の整備など 【キーワード】ICT、IoT、介護アシスト商品、電動車椅子や補装具、タイムタイマー、情報伝達システム 【学習の課題】ICT、IoT、介護ロボットを含めて具体的にどのような支援方法があるのか調べる。 【参考文献】坂村健『IoT とは何か 技術革新から社会革新へ』角川新書 2016 【学習する上での留意点】リハビリテーションや損なわれた機能をテクノロジーが補い、情報共有・活用に着目してください。